

環境政策係

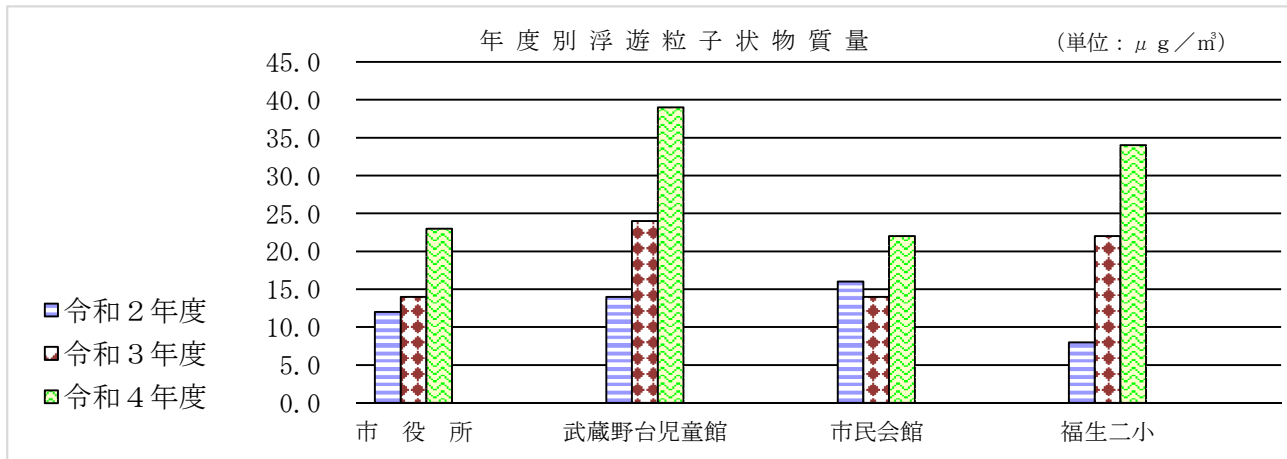
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：令和5年2月7日から10日まで

調査地点：市内4か所

ア 浮遊粒子状物質



区分	市役所	武蔵野台児童館	市民会館	福生二小
令和2年度	12.0	14.0	16.0	8.0
令和3年度	14.0	24.0	14.0	22.0
令和4年度	23.0	39.0	22.0	34.0

※ 福生二小の令和4年度については、屋上等工事により測定が実施できなかったため、白梅会館で実施

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査項目	市役所		武蔵野台児童館		市民会館		福生二小	
	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度
鉛	0.012	0.004	0.009	0.004	0.009	0.004	0.011	0.004
マンガン	0.020	0.011	0.025	0.012	0.016	0.011	0.016	0.012
バナジウム	0.002	0.001	0.003	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001
全クロム	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (μg (マイクログラム) は100万分の1g)

※ 福生二小の令和4年度については、屋上等工事により測定が実施できなかったため、白梅会館で実施

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：令和5年3月3日、6日

調査事業所数：2事業所（燃料使用量3000ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(W t %)
			令和4年度	前年度	
A	特A	1,000	0.05未満	0.05未満	0.8
B	〃	—			
C	A	—			
D	〃	—			
E	〃	—			
F	〃	—			
G	〃	—			
H	特A	1,200	0.08	0.05未満	
I	A	—			
J	〃	—			
K	〃	—			

※ W t %：質量パーセント、検出下限値0.05

(3) 二酸化窒素 (NO₂)

調査日：令和5年3月1日、2日

調査地点：市内12地点

(単位：ppm)

No	調査地点(交差点)	測定値		環境基準
		令和4年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.013	0.016	0.06
2	武蔵野橋南	0.024	0.016	
3	熊川内出	0.013	0.011	
4	第五ゲート前	0.020	0.012	
5	福生志茂南	0.011	0.011	
6	多摩橋北	0.012	0.012	
7	福生駅西	0.013	0.014	
8	福生加美	0.012	0.011	
9	福生加美平	0.013	0.011	
10	福生市役所前	0.012	0.014	
11	武蔵野台北	0.012	0.012	
12	第二ゲート前	0.025	0.020	

※ 数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

(単位：件)

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
区 東部	0	0	1	0	1	0	0	2
区 北部	0	0	1	0	1	0	0	2
区 西部	0	0	3	2	2	0	0	7
区 南部	0	0	1	1	2	0	0	4
多摩北部	0	0	2	1	1	0	0	4
多摩中部	0	0	1	1	1	0	0	3
多摩西部	0	0	1	0	0	0	0	1
多摩南部	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	0	0	11	5	8	0	0	24

※ 多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道（雨水管）

pH(水素イオン濃度) …酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量) …微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質量) …1μm以下のフィルターに残存する成分の量

ア 多摩川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和4年度	8.2	8.4	9.4	7.8	7.5	8.4	6.5~8.5
	令和3年度	8.2	8.9	7.9	8.4	8.1	8.4	
	令和2年度	7.3	6.9	8.2	7.9	6.7	7.6	
BOD	令和4年度	1.1	1.6	0.7	0.3	0.7	0.7	2mg/ℓ
	令和3年度	1.0	1.4	0.8	0.6	1.3	0.2	
	令和2年度	0.7	0.5	0.2	0.5	ND	0.5	
SS	令和4年度	1.0	1.0	2.0	ND	ND	0.5	25mg/ℓ
	令和3年度	1.0	2.0	1.5	ND	0.5	2.0	
	令和2年度	1.0	25.5	4.0	ND	ND	ND	

イ 下の川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和4年度	8.2	7.3	8.4	7.9	7.5	8.5	6.5~8.5
	令和3年度	7.6	8.3	7.7	8.2	8.2	8.3	
	令和2年度	7.7	6.7	7.7	7.4	6.6	7.9	
BOD	令和4年度	1.3	1.3	0.4	0.5	1.2	1.0	2mg/ℓ
	令和3年度	1.1	1.4	0.6	0.6	1.1	1.0	
	令和2年度	0.6	ND	0.5	0.1	0.3	0.4	
SS	令和4年度	5.0	0.0	0.3	0.0	0.7	0.0	25mg/ℓ
	令和3年度	0.6	1.0	0.6	ND	ND	7.0	
	令和2年度	1.6	2.6	3.3	40.0	ND	1.3	

ウ 都市下水路（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和4年度	8.2	7.9	8.0	7.6	7.6	8.4	5.8~8.6
	令和3年度	8.1	8.2	7.6	8.3	8.3	9.3	
	令和2年度	7.4	6.7	8.0	8.7	6.7	7.5	
BOD	令和4年度	0.6	0.6	1.3	0.0	0.6	0.8	160mg/ℓ
	令和3年度	1.3	1.2	ND	0.5	1.6	1.2	
	令和2年度	0.5	ND	0.7	0.5	ND	0.5	
SS	令和4年度	ND	ND	2.0	ND	ND	ND	200mg/ℓ
	令和3年度	ND	1.0	1.0	ND	3.0	1.0	
	令和2年度	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	

エ 本町幹線（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和4年度	8.4	7.3	8.0	7.6	7.3	7.9	5.8~8.6
	令和3年度	7.3	7.9	7.6	8.2	8.1	8.3	
	令和2年度	7.0	6.7	7.6	8.5	6.3	7.0	
BOD	令和4年度	1.1	1.3	1.2	0.7	0.8	2.1	160mg/ℓ
	令和3年度	1.3	1.6	1.7	0.5	0.7	0.9	
	令和2年度	1.4	0.9	1.0	7.3	2.9	1.0	
SS	令和4年度	1.0	1.0	4.0	ND	ND	5.0	200mg/ℓ
	令和3年度	3.0	19.0	9.0	ND	ND	6.0	
	令和2年度	3.0	3.0	2.0	10.0	ND	2.0	

※ 都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ ND：定量下限値未満

※ 平成27年度より、定量下限値未満についてはNDに表記を統一

(2) 多摩川合同採水

採 水 年 度		令和4年度		令和3年度	
採 水 月 日		6. 2 (木)	11.10(木)	6. 3 (木)	11. 4(木)
採 水 時 間		午前11時30分		午前11時30分	
流量	m ³ /sec	2.4	2.7	1.4	2.3
気温	℃	28.0	16.9	28.0	18.9
水温	℃	24.6	15.4	22.5	18.2
外観		無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
臭気		無臭	無臭	無臭	無臭
透視度	cm	>100.0	>100.0	>100.0	>100.0
pH (水素イオン濃度)		8.9	8.4	8.9	8.2
DO (溶存酸素)	mg/l	11.2	12.4	11.2	14.0
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/l	2.4	<0.5	1.3	0.8
COD (化学的酸素要求量)	mg/l	1.4	1.0	1.6	1.2
SS (浮遊物質)	mg/l	1	<1	2	<1
T-CN (シアン化合物)	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb (鉛)	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
NH ₄ -N (アンモニア性窒素)	mg/l	0.01	<0.01	0.01	0.02
T-N (全窒素)	mg/l	0.96	0.82	0.53	0.74
PO ₄ -P (リン酸性リン)	mg/l	<0.003	<0.003	0.004	<0.003
T-P (全リン)	mg/l	0.005	0.003	0.006	0.004
MBAS (陰イオン界面活性剤)	mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジクロロメタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
四塩化炭素	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
トリクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
テトラクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 3-ジクロロプロペン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
セレン	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
大腸菌群数	MPN/100ml	300	48	49	3300
カドミウム	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
六価クロム	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ヒ素	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総水銀	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
1, 4-ジオキサン	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	0.74	0.69	0.43	0.69
全亜鉛	mg/l	0.013	0.001	0.004	0.006
ノニルフェノール	mg/l	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
環 境 基 準		水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：令和4年8月25日

検査項目	測定地点	測定地点										基準値
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	5.6	3.4	4.6	3.7	4.2	4.3	6.1	5.8	3.1	1.5	10以下
塩化物イオン	mg/ℓ	7.4	5.1	3.5	5.4	4.0	5.4	3.9	4.6	3.6	1.3	200以下
有機物(TOCの量)	mg/ℓ	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	<0.3	0.4	0.3	<0.3	0.3	3以下
一般細菌	個/mℓ	12	2	1	1	95	1	13	30	1	27	100以下
大腸菌群数		不検出	不検出	検出	不検出	不検出	不検出	検出	不検出	検出	不検出	検出されないこと
鉄	mg/ℓ	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.04	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.3以下
マンガン	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
pH(水素イオン濃度)		6.7	6.4	6.6	6.6	6.5	6.7	6.3	6.1	6.4	6.8	5.8～8.6
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	検出されないこと
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	検出されないこと
色度		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	5度以下
濁度		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ 平成19年度より過マンガン酸カリウム消費量を有機物と表記する。

※ 地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：令和4年9月14日

(単位：mg/ℓ[pHと水温を除く。])

検査項目	測定地点	A工場		基準値
		令和4年度	前年度	
pH(水素イオン濃度)		8.4	9.8	5.8～8.6
pH測定時水温		25.2	20.2	40℃以下
BOD(生物化学的酸素要求量)		1.3	2.7	160
COD(化学的酸素要求量)		6.7	11.0	160
SS(浮遊物質)		2	25	200
カドミウム及びその化合物		<0.003	<0.003	0.03
鉛及びその化合物		<0.01	<0.01	0.1
水銀、メチル水銀及びその化合物		<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量		<0.05	<0.05	3
亜鉛含有量		<0.05	0.07	2
溶解性鉄含有量		<0.05	0.09	10

※ 基準値を超えているものには、色付けをしている。

(5) 雨水管 (横田基地流入分)

測定日： 令和4年6月15日

令和5年2月10日

項目	単位	多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線		排水基準
		6月	2月	6月	2月	6月	2月	
pH (水素イオン濃度)		7.0	6.9	7.1	7.0	6.7	7.0	5.8~8.6
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/ℓ	1.4	2.9	1.9	2.7	1.8	1.9	160mg/ℓ
SS (浮遊物質)	mg/ℓ	3	11	14	15	5	15	200mg/ℓ
ノルマルヘキササン抽出物	mg/ℓ	<1	<1	<1	<1	<1	<1	30mg/ℓ
フェノール類	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	5mg/ℓ
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	1.2	0.8	0.7	1.5	0.9	1.2	※
六価クロム	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.5mg/ℓ
鉛及びその化合物	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1mg/ℓ
カドミウム及びその化合物	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03mg/ℓ
総水銀化合物	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005mg/ℓ
アンモニア性窒素	mg/ℓ	0.06	0.26	0.07	0.24	0.07	0.51	100mg/ℓ
リン酸性リン	mg/ℓ	0.003	0.011	0.018	0.017	0.004	0.042	※
陰イオン界面活性剤	mg/ℓ	<0.02	0.04	<0.02	0.07	<0.02	0.11	※
有機リン化合物	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/ℓ
有機物 (TOCの量)	mg/ℓ	2.5	2.7	2.3	3.9	2.1	4.0	※
セレン及びその化合物	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/ℓ
ヒ素及びその化合物	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/ℓ
全リン	mg/ℓ	0.12	0.051	0.031	0.091	0.018	0.20	16mg/ℓ
シアン化合物	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1mg/ℓ

※は排水基準の設定なし

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・騒音・振動調査

ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	令和4年 11月14日 ～15日	令和4年 11月14日 ～15日	令和4年 11月14日 ～15日	令和4年 11月14日 ～15日	令和4年 11月14日 ～15日
昼間 上り	19,542	9,456	6,720	3,834	5,448
昼間 下り	19,236	9,738	7,644	3,408	9,786
夜間 上り	2,994	918	648	318	972
夜間 下り	3,372	942	600	306	966
合計	45,144	21,054	15,612	7,866	17,172
前年度合計	52,464	18,960	15,264	8,784	17,040

※ 都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	令和4年 11月14日～18日の うち3日間	令和4年 11月14日～18日の うち3日間	令和4年 11月14日～18日の うち3日間	令和4年 11月14日～18日の うち3日間	令和4年 11月14日～18日の うち3日間	
騒音 (Leq)	昼間	75	69	69	68	68
	前年度	73	67	68	67	67
	夜間	75	67	66	63	66
	前年度	74	65	64	61	65
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

※ Leq＝等価騒音レベル

ウ 振 動

(単位：デシベル＝d B)

道 路 通 称		国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測 定 場 所		横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用 途 地 域		近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車 線 数		4	4	2	2	2
測 定 日		令和4年 11月17日0時 ～18日0時	令和4年 11月17日0時 ～18日0時	令和4年 11月17日0時 ～18日0時	令和4年 11月14日0時 ～15日0時	令和4年 11月18日0時 ～19日0時
振 動 (L 1 0)	昼 間	47	30	30	31	55
	前 年 度	42	30	29	25	53
	夜 間	48	26	28	25	51
	前 年 度	45	26	27	25	48
要 請 限 度	昼 間	70	65	70	65	70
	夜 間	65	60	65	60	65

(2) 自動車騒音面的評価

市内でセンサス区間（自動車の運行に伴う騒音の影響が概ね一定とみなせる区間）に指定されている幹線道路20か所（1か所は毎年）の自動車騒音調査を5か年以内に全て行い評価する。（平成24年度から実施）

環境基準値	昼間	70	※幹線交通を担う道路に近接する空間に関する基準値
	夜間	65	

番号	道路名 (調査場所)	センサス 番号	基準点騒音 レベル(dB)		残留騒音レベ ル(dB)		達成率(%)		達成戸数(戸)		全戸数 (戸)
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	国道16号 (福生市熊川1148-3)	15140	75	74	46	37	73.2	55.8	464	354	634
2	立川青梅線 (福生市福生1211)	41450-1	70	63	50	32	100	100	84	84	84
		41450-2	70	63	50	32	100	100	147	147	147
3	瑞徳あきる野八王子線 (福生市福生1027-14)	61170-1	55	49	42	33	100	100	61	61	61
		61170-2	55	49	42	33	100	100	201	201	201
4	昭島停車場熊川線 (福生市熊川1566-4)	62240-1	67	64	49	38	—	—	0	0	0
5	国道16号 (福生市福生2034-3)	15150-1	75	74	42	37	58.6	43.1	106	78	181
6	杉並あきる野線 (福生市熊川307)	40510-1	67	64	43	36	100	99.7	390	389	390
7	立川青梅線 (福生市牛浜25)	41560-1	67	60	37	32	99.8	99.8	585	585	586
8	瑞徳あきる野八王子線 (福生市本町1)	61250-1	59	51	43	38	100	100	278	278	278
9	国道16号 (福生市熊川456-1)	15130-1	56	53	43	42	100	97.9	192	188	192
10	立川青梅線 (福生市志茂208)	41490-1	68	65	41	36	99.9	99.5	751	748	752
11	立川青梅線 (福生市熊川139)	41540-1	66	60	37	33	100	100	151	151	151
12	瑞徳あきる野八王子線 (福生市志茂229)	61260-1	63	60	37	34	100	99.7	342	341	342
13	杉並あきる野線 (福生市北田園1丁目12)	40440	65	60	38	33	85.7	80.2	852	797	994
14	立川青梅線 (福生市熊川204)	41470	70	65	36	35	96.3	96.3	207	207	215
15	立川青梅線 (福生市福生549-1)	41590	66	61	38	33	57.8	53.3	52	48	90
16	福生青梅線 (福生市武蔵野台1丁目16)	62840	65	59	39	30	93.6	90	761	732	813
17	立川青梅線 (福生市熊川711-3)	41360	63	58	37	33	100	100	346	346	346
18	立川青梅線 (福生市加美平3-39)	41380-1	66	61	40	33	99.8	99.8	497	497	498
19	伊奈福生線 (福生市福生656-1)	61120-1	65	60	38	33	99.1	98.7	786	783	793
20	杉並あきる野線 (福生市熊川1633)	41370-1	67	65	36	36	100	100	415	415	415

※番号1は優先的対策道路区間として毎年評価を行う。

※平成29年度に実施した測定については、適正な測定結果が得られなかったため、欠測とする。

測定日時① 令和4年11月14日(月)0時から11月19日(土)0時まで(番号1から番号5まで)

測定日時② 令和3年11月17日(水)正午から11月18日(木)正午まで(番号17から番号20まで)

測定日時③ 令和2年11月18日(水)正午から11月19日(木)正午まで(番号13から番号16まで)

測定日時④ 令和元年6月13日(木)正午から6月14日(金)正午まで(番号9から番号12まで)

測定日時⑤ 平成30年6月28日(木)正午から6月29日(金)正午まで(番号6から番号8まで)

(3) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	測定回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (dB)	時間帯補正等 価騒音レベル (dB) ※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	1,197	809	368	20	105	65
5	1,322	1,047	243	32	114	70
6	892	650	221	21	105	63
7	1,118	906	191	21	114	64
8	1,254	1,015	224	15	102	62
9	980	732	226	22	114	64
10	1,049	787	235	27	112	63
11	1,069	849	190	30	122	67
12	800	615	179	6	110	61
5年1	1,160	883	258	19	118	64
2	994	707	259	28	106	63
3	1,096	866	212	18	122	72
合計	12,931	9,866	2,806	259		
前年度合計	12,717	9,630	2,863	224		
月平均	1,078	822	234	22	116	65

※ dB : デシベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	測定回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (dB)	時間帯補正等 価騒音レベル (dB) ※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	254	153	101	0	82	46
5	375	266	96	13	98	56
6	93	55	37	1	87	41
7	177	128	49	0	92	45
8	208	150	58	0	87	44
9	141	90	51	0	86	44
10	164	112	51	1	89	43
11	175	120	54	1	87	45
12	104	59	44	1	86	43
5年1	205	135	70	0	88	45
2	171	102	68	1	87	45
3	192	126	66	0	93	48
合計	2,259	1,496	745	18		
前年度合計	2,253	1,445	768	40		
月平均	188	125	62	2	91	45

※ dB : デシベル

※時間帯補正等価騒音レベル (Lden) : 平成25年4月1日から航空機騒音の評価指標となったもので、影響が大きいとされる夕方と夜間の騒音に重み付けをして補正した値を、1日24時間で平均することで算出する。航空機の離着陸などに伴い発生する「飛行騒音」に加え、航空機が滑走路・誘導路上を移動する際の騒音やエンジンテストによる騒音等の地上騒音も測定・評価の対象となる。

(4) 環境騒音調査 市内29地点 (46か所)

測定日：令和5年3月20日から28日まで【平日・昼間】

No	測定地点		騒音の大きさ (dB)			支配音
	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(L _{eq})		環境基準	
			令和4年度	前年度		
1	準工業	一般地域	56	54	60	一般音
2	準工業	一般地域	48	49	60	〃
3	第1種住居	沿道	67	64	70	自動車音
	第1種低層	後背地	47	49	55	〃
4	近隣商業	沿道	68	67	70	〃
	近隣商業	後背地	55	55	60	〃
5	第1種低層	一般地域	48	46	55	自然音
6	第1種住居	沿道	67	69	70	自動車音
	第1種低層	後背地	51	49	55	〃
7	近隣商業	沿道	74	76	70	〃
	第1種低層	後背地	51	54	55	〃
8	第2種低層	沿道	61	64	60	〃
	第1種低層	後背地	56	56	55	〃
9	第1種中高層	沿道	65	64	65	〃
	第1種低層	後背地	47	49	55	〃
10	第1種低層	後背地	51	49	55	一般音
	第1種中高層	沿道	62	61	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	67	63	70	〃
	第1種低層	後背地	50	48	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	54	53	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	55	55	60	〃
14	近隣商業	一般地域	50	51	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	52	52	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	76	76	70	〃
	第1種低層	後背地	54	54	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	50	49	55	〃
18	近隣商業	沿道	65	66	70	自動車音
	近隣商業	後背地	57	54	60	〃
19	第1種低層	一般地域	49	47	55	〃
20	第2種中高層	沿道	62	62	70	〃
	第1種中高層	後背地	49	47	55	一般音
21	商業	一般地域	62	60	65	自動車音
22A	商業	一般地域	60	59	65	〃
22B	商業	沿道	63	61	70	〃
	第2種低層	後背地	54	54	55	〃
23	第1種中高層	沿道	66	66	60	〃
	第1種低層	後背地	50	49	55	〃
24	準工業	一般地域	44	43	65	一般音
25	近隣商業	沿道	62	62	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	46	47	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	45	43	60	〃
27	工業	沿道	65	64	70	自動車音
	工業	後背地	47	46	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	47	46	60	〃
29	第1種住居	沿道	65	64	70	自動車音
	第1種住居	後背地	52	51	55	〃

※ 後背地の環境基準は、一般地域のもので適用される。

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	5年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	4
アスベスト相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土 壌 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音 ・ 振 動	5	2	3	0	1	5	2	1	1	0	0	3	23	21
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機騒音	21	54	14	6	15	25	11	13	10	21	18	25	233	90
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	8
雑 草	0	6	5	4	4	5	4	2	0	0	0	1	31	37
そ の 他	3	4	3	6	7	5	1	5	1	7	4	1	47	53
合 計	29	66	25	17	27	40	18	24	13	28	22	31	340	213

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	令和 4年度	前年度	区 分	令和 4年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	0	4
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	0
工 場 変 更 認 可	0	0	指 定 作 業 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	1	0
工 場 変 更 認 定	0	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	0	1
工 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	1	1	特 定 施 設 設 置 届	0	0
工 場 廃 止 届	1	0	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	0	0
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	16	16	特 定 建 設 作 業 実 施 届	16	16
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	0	1			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	令和 4年度	前年度	区 分	令和 4年度	前年度
工 場 認 可 関 係	0	0	苦 情 処 理	200	221
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	1	各 種 測 定	171	168
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	0	1			

5 環境行政・環境学習の推進

(1) 市民会議等

ア 福生地域ネコの会

令和4年度定例会議 5回開催

イ かんきょう通信編集会議

環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行
第51号 3回開催

ウ ふっさ花とみどりの会

定例会議 4回開催

花いっぱい運動(春・秋) やなぎ通り・国道16号 2か所 2回

多摩川中央公園フラワーゾーン花壇管理(除草・植栽・採種等) 7回

視察研修(神奈川方面) 1回

花いっぱいコンテスト審査会(秋) 1回

花いっぱいコンテスト(秋)表彰式 1回

※春に実施を予定していた花いっぱいコンテスト審査会及び表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

エ ふっさ環境市民会議

定例会議 5回開催

福生打ち水日和 1回開催

打ち水に関する展示の実施内容・手ぬぐいの配布

・夏の省エネ資料の配布

・市役所訪問者への打ち水の呼びかけ

環境マップづくりに係る会議 2回開催

環境学習講座「脱炭素社会に向けた家庭の省エネを学ぼう！」1回開催(ふっさ環境フェスティバル期間)

展示「市民団体による環境活動の紹介」1回開催(ふっさ環境フェスティバル期間)

地球温暖化防止月間キャンペーン 1回開催

地球温暖化防止月間セミナー「気候変動で直面する災害への取組と行動」1回開催

環境と共生のまちづくりセミナー「市民団体による交流会」1回開催

(2) 福生市環境審議会

令和4年8月(書面開催)

- ・福生市環境基本計画実行計画(令和3年度計画)進捗状況について
- ・福生市環境基本計画実行計画(令和4年度計画)について

令和5年2月(書面開催)

- ・環境に関する市民アンケート集計結果について
- ・福生市環境基本計画市民会議の運用状況等について

(3) ふっさ環境フェスティバル

環境問題に対する認識を深め意識の醸成を図ることを目的に、市民参加型のイベントを2本立てで開催した。

ア 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、福祉センターを会場とした来場型イベント

日時 令和4年6月19日(日) 午前10時～午後3時

場所 福祉センター

内容 ふっさ草笛サークル 演奏、明治大学校友会 環境落語、わくわくほうせい 化学実験ショー、ふっさマジック腹話術 マジック&腹話術ショー、環境に関する展示、環境に配慮して営業している事業所によるフードブース出展、VR体験、動物ふれあい体験(東京農工大学)、スタンプラリーほか

出展団体 20団体(一般、事業者、官公庁)

来場者 406人

イ まちなか全体を会場と見立てたイベント

開催期間 環境省が規定する環境月間である6月の1か月間

参加団体 85団体(一般、事業者、官公庁)

(うち、実行委員 27団体、一般参加 58団体)

- 内 容
- ① 「私たちの環境配慮」&「環フェステッカー」の掲示
 - ② サンシャイン池崎さんによるYouTubeライブ配信「保護猫について」
視聴回数 13,887回(公開期間6月10日～19日)
 - ③ SNS(YouTube・Instagram・Twitter)を活用した環境情報の発信
 - ・YouTube 掲載数 17本
 - ・Instagram 投稿件数 11件
 - ・Twitter 投稿件数 33件
 - ④ 環フェスマップの作成(3,000部)
 - ⑤ 環フェスクイズの実施(ホームページ上で出題・回答)
回答数 102名
 - ⑥ 環境スポット紹介(環フェスマップ&市ホームページ)
 - ⑦ パネル展示(市役所1階ロビー)
 - ⑧ フードドライブ、ぬいぐるみ回収
 - ⑨ 市民団体による環境活動PR

(4) 福生水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全12回

第1回	4/10	バードウォッチング&ごみ拾い	(10人、4人、10人)
第2回	6/12	多摩川の魚を見つけよう	(36人、27人、6人)
第3・4回	7/10	誰でもできる簡単釣り体験(午前・午後)	(61人、50人、16人)
第5回	8/11	いかだで冒険、多摩川で泳ごう	(32人、27人、7人)
第6回	8/14	多摩川の河口干潟へ行こう	(13人、13人、4人)
第7回	9/11	多摩川の魚を見つけよう	(25人、23人、8人)
第8回	10/9	バッタをゲット	(9人、8人、4人)
第9回	11/13	バードウォッチング&ごみ拾い	(11人、8人、6人)
第10回	12/11	クリスマスリースを作ろう	(13人、9人、5人)
第11回	1/8	手作り凧あげ	(31人、22人、8人)
第12回	2/12	かくれんぼ広場で冒険遊び	(15人、15人、8人)
		計	(256人、206人、82人)
		合計	544人

※()内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示

※令和4年度は全12回の活動を計画

(参考 令和3年度 全10回)

(5) 福生水辺の楽校“多摩川サポーターズ”全2回

第1回	5/8	水生生物をつかまえて水質をしらべよう	(20人、18人、14人)
第2回	8/11	いかだを作ろう	(20人、18人、6人)
		計	(40人、36人、20人)
		合計	96人

※()内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示

※令和4年度は全2回の活動を計画

(参考 令和3年度 全2回)

(6) 小中学校における多摩川の総合学習支援

市内の小中学校が多摩川を題材とした総合的な学習の時間において行う体験活動に対し、資器材、教材の提供及び専門的な講師を派遣した。小学校6校からの依頼により、計32回の学習支援を行った。

内 容 植物昆虫観察、野鳥観察、水生生物観察など

参加人数 延べ1,707人

派遣講師 延べ43人

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
58人	62人	87人	183人	202人	65人	27人
11月	12月	5年1月	2月	3月	合計	前年度
35人	45人	77人	71人	26人	938人	254人

※開館日数：125日(土・日曜及び小・中学校夏休み期間)

※イベント(福生水辺の楽校)参加者も含む。

※台風接近及び積雪のため、8月13日(土)、2月11日(土)は休館

(8) 環境学習教員研修

第1回	7/25	「フィールドで学ぶ ～水質調査、生物調査、川の安全学習～」	17人
第2回	7/26	「福生の自然の変遷～フィールドワーク (旧ヤマジュウ田村家住宅、田村酒造)～」	14人
第3回	7/27	「福生の自然の変遷～フィールドワーク (旧ヤマジュウ田村家住宅、田村酒造)～」	17人
第4回	7/28	「フィールドで学ぶ ～水質調査、生物調査、川の安全学習～」	12人
		合計	60人

※緊急事態宣言により中止になった令和3年度分を令和4年度に実施

(9) 環境学習講座

市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全1回の環境学習講座を計画

第1回	10/22	施設見学	12人
		合計	12人

(10) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
17匹	17匹	34匹

6 地球温暖化対策

(1) サイクルシェアリング

実証実験を踏まえ、ガソリン使用自動車からの乗換えによる地球温暖化対策、市内の回遊性の向上等を目的に、平成26年度からサイクルシェアリング事業として本格実施を開始した。設備の老朽化等により適切な運用が難しいことから、シェアリング利用を令和3年12月末日、一時利用を令和4年3月末日にそれぞれ終了させた。

令和4年度より、OpenStreet株式会社と協定を締結し、広域利用が可能となる「HELLO CYCLING」によるサイクルシェアリングを開始した。

《実績》

令和4年度		
利用回数(流出/流入/域内)	利用者数	
4月	421回 (70/53/298)	241人
5月	586回 (89/82/415)	334人
6月	465回 (69/40/356)	221人
7月	604回 (81/73/450)	289人
8月	607回 (98/80/429)	303人
9月	709回 (104/93/512)	337人
10月	749回 (137/102/510)	371人
11月	609回 (100/79/430)	314人
12月	632回 (94/96/442)	303人
5年1月	613回 (89/83/441)	289人
2月	612回 (108/122/382)	292人
3月	777回 (151/134/492)	397人
合計	7,384回 (1,190/1,037/5,157)	3,691人

※利用回数の「流出」は市域外に出て行った回数、「流入」は市域外から入ってきた回数、「域内」は市域内だけで利用された回数

令和3年度			
会員数		1,053名	
収入	シェアリング利用	163,750円	
	一時利用	68,600円	
	合計	232,350円	
シェアリング 利用回数	くるみる ふっさ	貸出	651回
		返却	480回
	福生駅 西口	貸出	269回
		返却	308回
	牛浜駅 東口	貸出	433回
		返却	459回
	拝島駅 北口	貸出	416回
		返却	452回
	福祉 センター	貸出	595回
		返却	665回
合計		2,364回	
一時利用回数		115回	

(2) 福生スクラム・マイナス50%協議会

令和5年2月17日(書面開催) ・令和4年度事業について(中間報告)
 ・令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会を書面で開催した。

(3) 普及啓発等事業の実施について

ア ふっさライトダウンキャンペーン2022(2回)

イ みどりのカーテン大作戦(参加37件)

7 環境マネジメントシステムの運用

平成 20 年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード (LAS-E)』を運用。平成 26 年度から LAS-E の仕組みを土台として独自の環境マネジメントシステムを構築し、名称を福生市環境マネジメントシステム (Fussa environmental management system: 略称 F-e) として運用を開始し、地球温暖化対策の推進を図った。

(1) 環境監査及び優良取組選定

これまでの監査を、取組状況や運用状況の点検を行う「環境監査」と、水平展開が望まれる良い取組の選定を行う「優良取組選定」として整理して実施した。

日 程	対 象	内 容
令和 5 年 2 月 14 日、16 日 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモートで実施)	環境監査:施設所管課 など 4 部署・施設 優良取組選定: 11 部 署・施設	業務における環境面で特に重視している事柄や環境行動推進徹底のための取組について確認

(2) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	4 回 (うち 1 回は 書面開催)	令和 3 年度実績について、令和 4 年度 F-e 運用における方針、目標設定、監査等について
目標設定チーム会議	1 回	令和 4 年度における目標設定について
環境マネージャー会議	2 回	令和 3 年度実績について、令和 4 年度 F-e 運用における方針、目標設定、監査等について
監査チーム会議	3 回	監査等実施方法の確認、監査等対象部署の選定、対象部署への質問の検討、監査等の結果及び報告書の内容確認、監査等の振り返り

(3) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
新任研修	令和 4 年 4 月 8 日	令和 4 年度新規採用職員等	環境マネジメントシステム全般及び具体的な取組について説明
職員個人調査	令和 4 年 12 月上旬～12 月中旬	課長職以下の全職員	職員の環境配慮等について「正誤テスト」、「意識調査」による調査
職員研修	令和 4 年 10 月 28 日～12 月 7 日 (研修システム及び研修動画 DVD 配布により実施)	職員、会計年度任用職員、小・中学校教職員、指定管理施設職員	令和 3 年度実績、F-e 取組のポイント、地球温暖化対策の現状と必要性について説明
監査直前研修会	令和 5 年 2 月 3 日、7 日	監査等対象部署職員	環境監査・優良取組選定のポイント、ヒアリングの進め方などについて説明

8 外来生物防除事業

アライグマ、ハクビシン及びクビアカツヤカミキリの市内における生息・被害状況の把握及び防除による自然環境や生態系の保全、農産物被害、感染被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、捕獲、防除等を実施した。

(1) アライグマ・ハクビシン

特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの捕獲、防除等を実施した。平成30年度より、定点での捕獲の他に個別対応の捕獲を行っている。

種名	目撃情報	捕獲防除実績
アライグマ	2件	24頭
ハクビシン	20件	22頭
合計	22件	46頭

(2) クビアカツヤカミキリ

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの捕獲、防除等を実施した。防除の方法等について国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所から意見聴取を行い、効果的な防除を実施した。

- ・被害樹木への防除ネット設置 19か所
- ・被害樹木の見回り 60日
- ・被害樹木への薬剤散布 67本
- ・市民説明会の実施 1回
- ・町会・自治会の協力によるチラシ回覧、掲示板へのポスター掲示
- ・幼稚園、保育園、小・中学校等へのポスター掲示